



屋の未来都市



夜の未来都市

十数年前に初めて中国を訪れた国を旅して以来、まだ三回しか中国を訪れたことはない。世界遺産

# 上海・蘇州・無錫 巨大都市・上海

(2)

サビエル生誕五百年

巡礼の道

209

藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

の数だけでも三十五、広大な領土、世界の人口の五人に一人が中国人と言われる中国の実態を数回の旅でわかるはずがない。しかし、この十数年で中国は大幅に変化したことだけは間違いない。日本が東京オリンピックと大阪万博で世界

にその存在感を示したように、中国も北京オリンピックと上海万博で今、世界にその存在感を大きくアピールしているように思える。今回、上海を初めて訪れ、余りの巨大都市であることに驚かされた。首都、北京よりもスケールの大きい中国最大の都市・上海。「上海がえりのリル」と口ずさむ上海ではなく、多分、世界一の都市になるだろうと思われる。

上海の中心部を流れる黄浦江、魅力的な都市には必ずそこに大きな河がある。そもそも、人類は大河の流域に文明を生み出した。夜のクルーズで両岸が

ライトアップされた風景は今もまぶたに浮かぶ。一八四三年のアヘン戦争でイギリスに敗れ、上海の中心部は西欧列国の租界となった。黄浦江岸の外灘(わいたん)は当時、東方のウォール街と呼ばれ、今も大勢の観光客でにぎわう。特に夜、ライトアップされた外灘はロマンチックで美しい。一方、対岸の浦東新地区はまさに未来都市。今の上海を象徴している。

夜、河幅約五百メートルの黄浦江をネオンで美しく飾られた観光船が行き交う。三十階以上のビルが八千以上あるという上海中心部、昼はロボットの街のような感じを受けたが、夜は幻想的で美しい。現代版「上海がえりのリル」はどんな曲になるだろうか



ヘルメット着用義務なしの電気自転車

最初に訪れた時、中国の庶民の足は自転車だと思った。今回、日本の単車のような電気自転車(元山口放送取締役ラジオ局長)

とにかく上海は世界最大の都市、今の中国を象徴している。